

医工農連携シンポジウム 開催報告

平成 21 年 2 月 18 日(水)、イノベーション創出による地域活性化に向けた「医工農連携シンポジウム」が、群馬大学と前橋工科大学を幹事校として、首都圏北部4大学連合(4u)と前橋工科大学の主催で、前橋工科大学において開催されました。

生涯健康で安全・安心な生活を営める社会の実現に向け、地域と大学が連携し、地域の活性化、産業の振興に寄与することを目的として、初めて開催されたものです。

シンポジウム参加者は110名、交流会の参加者は47名でした。

参加者の内訳は、企業から45名、一般市民の方5名、官公庁関係10名、マスコミ2名となっており、医工農連携への関心の高さを感じました。

前橋工科大学の江守学長の開催挨拶、首都圏北部4大学(4u)事務局長の須齋教授による4u活動の紹介に続き、「産業メンタルヘルスを巡る諸問題」と題して、群馬大学・三國教授より基調講演をいただきました。

パネルディスカッションの部では、「医工農連携によるイノベーション創出と地域の活性化」をテーマに、6人のパネリスト(前橋工科大学・今村教授、茨城大学・阿久津教授、宇都宮大学・夏秋教授、埼玉大学・西垣教授、群馬大学・浅川准教授、AdaBio(株)・足立 社長)から講演いただいた後に、須齋教授をモデレーターとして熱心なパネルディスカッションが行われました。



前橋工科大学・江守学長



4u事務局長・須齋教授



シンポジウム会場



基調講演・三國教授



パネルディスカッション



交流会